



# ハートフルなんぶ

2025. 3月号 vol. 312



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川1201番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

## 2025年本屋大賞ノミネート作が発表されました!

(令和7年4月9日発表)

- ★ 『アルプス席の母』 早見 和真/著 小学館 <F八>
- ★ 『死んだ山田と教室』 金子 玲介/著 講談社 <F力>
- ★ 『カフネ』 阿部 暁子/著 講談社 <Fア>
- ★ 『spring』 恩田 陸/著 筑摩書房 <Fオ>
- ★ 『禁忌の子』 山口 未桜/著 東京創元社 <Fヤ>
- ★ 『生殖記』 朝井 リョウ/著 小学館 <Fア>
- ★ 『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂 ミチ/著 小学館 <Fイ>
- ★ 『成瀬は信じた道をいく』 宮島 未奈/著 新潮社 <Fミ>
- ★ 『小説』 野崎 まど/著 講談社 <Fノ>
- ★ 『人魚が逃げた』 青山 美智子/著 PHP 研究所 <Fア>



『※個人の感想です』 伊藤 朱里/著 KADOKAWA <Fイ>

『ものごころ』 小山田 浩子 文藝春秋 <Fオ>

『風待荘へようこそ』 近藤 史恵/著 KADOKAWA <Fコ>

『骨を喰む真珠』 北沢 陶/著 KADOKAWA <Fキ>

『しらゆきの果て』 澤田 瞳子/著 KADOKAWA <Fサ>

『天使は見えないから、描かない』 島本 理生/著 新潮社 <Fシ>

『魔法を描くひと』 白尾 悠/著 KADOKAWA <Fシ>

『目には目を』 新川 帆立/著 KADOKAWA <Fシ>

『泡の子』 樋口 六華/著 集英社 <Fヒ>

『港たち』 古川 真人/著 集英社 <Fフ>

『動物工場』 ノヴァイオレット・ブラワヨ/著 早川書房 <933フ>

『もういちど読む山川倫理 PLUS 日本の思想編』 小寺 聡/著 山川出版社 <150コ>

『就職氷河期世代の経済学』 永濱 利廣/著 日本能率協会マネジメントセンター <366ナ>

『先生、イルカとヤギは親戚なのですか!』 小林 朋道/著 築地書館 <481コ>

『がんばらないおやつ』 青木 ゆかり/著 扶桑社 <596ア>

『ウィキペディアタウン・ハンドブック』 青木 和人/[著] 文学通信 <601ア>

『「デマ」の構造』 三枝 玄太郎/著 かや書房 <070サ>

『家系図をつくる。』 永峰 英太郎/著 自由国民社 <288ナ>

『食べすぎた!をなかったことにするリセットごはん』 新谷 友里江/著 主婦と生活社

<596ニ>

『うまいイラストレーション』 日貿出版社 <726ウ>

『3分間の音読セラピー』 寺田 理恵子/著 さくら舎 <809テ>

### 3月の 新刊案内



『野草がハーブやスパイスに変わるとき』 山下 智道／著 山と溪谷社 《470ヤ》

『心華やぐ美しい花図鑑』 宝島社 《627コ》

『世界の美しいバラの庭』 パイインターナショナル 《627セ》

『植物図鑑図案集』 HUTTE./著 日本文芸社 《736シ》

『花の立体切り絵』 カジタ ミキ／著 誠文堂新光社 《754カ》

『花づくり折り紙』 小林 一夫／監修 アップルミンツ 《754コ》

『茶花の見分けかた、育てかた』 塩見 亮一／著 淡交社 《791シ》

『花に埋もれる』 彩瀬 まる／[著] 新潮社 《Fア》



# Essay

## 「狂い咲のコスモス」

寄稿：夕焼けざくろ

去年の秋、私の庭ではコスモスが狂い咲いていた。

8月に右手の人差し指を怪我し、十針も縫うことになった私は、庭の手入れもままならず、ただコスモスが風に揺れるのをぼんやりと眺めるしかなかった。去年の夏がとても暑かったせい、コスモスは例年よりも背丈が高く、茎も太かった。コスモスたちは狂い咲き、二面ある花壇のうちの一つを完全に覆い尽くしてしまった。例年なら、小さいうちに間引いて適度な量を保つのだが、今年はそれができなかった。さほど広くもない花壇に隙間もないほどコスモスは見事に咲いた。コスモスは開花期間が長いそうだ。咲き始めてから散り終わるまで、実に長い。また、土壌の養分をあまり必要とせず、痩せた土地でもすくすく育つらしい。

植物には、根を張り続けるものと、風に乗ってどこまでも旅をするものがある。球根のように毎年同じ場所で花を咲かせる植物もあれば、コスモスのように種を飛ばし、時には思いがけない場所で新たな花を咲かせるものもある。

「置かれた場所で咲きなさい」という言葉がある。だけど、すべての花がその言葉に従えるわけではないと思う。環境が悪ければ、どんなに強い種を持っても咲くことはできない。ならば、無理にそこにとどまる必要はない。種を飛ばし、新たな場所で芽吹くこともまた、一つの生き方なのかもしれない。

私自身もまた、二年前、42歳の時会社員をやめ、フリーランスとして新たな道を歩み始めた。安定した環境に根を張るのではなく、まるで種子植物のように、新しい環境に飛び出していった。不安もあったが、風に乗って運ばれた先で、思いがけない出会いに恵まれることもあり、色々な場所へ出向き種を置いて周った。会社員時代の私は球根のようで、同じ場所で毎年咲こうとしていたが、今はコスモスのように自由に広がり、どこでも花を咲かせることができる。とはいえ、新しい場所は慣れるのに時間がかかる。環境が悪い場所に種を植えると数年は芽を出さないし、決して楽な環境とはいえない。通常の何倍ものエネルギーを必要とするし、辛いこともひとりでジッと耐える。だから今は沢山の知識を養分として蓄えて、空っぽの土壌で自らのエネルギーを使って花を咲かそうとしている。

今年の秋、コスモスはどこに咲くだろうか。風に運ばれた種が、思いがけない場所で花を咲かせるかもしれない。私自身もまた、風に身を任せ、新たな土地で咲くことを恐れずにいたいと思う。

### 2025年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



南部図書館

開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です